

研究公開文書

2019年 7月 16日

研究名：当院の腹腔鏡下骨盤臓器脱手術(腹腔鏡下恥骨せつ靭帯-子宮頸部固定術：Laparoscopic pectopexy)における後方視的研究

研究の概要：

腹腔鏡下恥骨せつ-子宮頸部固定術(以下 laparoscopic pectopexy)は腹腔鏡下仙骨脛固定術と比較し、安全で効果的であり、合併症も少ないことが海外の文献で報告されている。当院でも laparoscopic pectopexy を導入しており、その術式の効果、安全性を後方視的に検討する。

研究対象：

2018年8月から2019年6月までに当院で laparoscopic pectopexy を行った症例を対象とする。

研究責任者：

小田原市立病院 産婦人科 平田 豪

研究実施期間：2018年当院倫理委員会許可日-2019年6月30日

連絡先（本施設代表者）：

小田原市久野46 小田原市立病院産婦人科 平田 豪
TEL 0465-34-3175 (代表)

人を対象とする医学系研究に関する 情報公開について

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(※別紙)により、事前のインフォームドコンセント(説明と同意)を受けていない場合は、当該指針に基づき下記のとおり情報を公開します。

不明な点がある方は、遠慮なく連絡先までご相談ください。また、本研究への不参加や参加取りやめを希望される方は、同意撤回が可能ですのでご連絡先へご一報くださいますようお願いいたします。